



株式会社ヤマシナ

ニュースリリース

ボルトを高強度にするための熱処理コストを削減、高い溶接強度も実現 熱処理不要の溶接ボルト「ノンヒートスタッド」を新発売

熱処理不要の金属材料を用いた溶接ボルト「ノンヒートスタッド」を新発売します。

溶接ボルトは鉄板に溶接して立て、使用します。最近が高張力鋼板(ハイテン材)に対する溶接ボルトの需要が高く、強度の高いハイテン材に使用するには高強度な溶接ボルトが必要になります。

このためこれまでの溶接ボルトは鋼に熱処理を施し高強度にしたものが使われていました。熱処理でボルト強度を上げるためには材料に高いカーボン含有量が必要です。しかし、高いカーボン含有量は溶接性を悪くし、溶接強度が低下することがありました。

今回の溶接ボルト「ノンヒートスタッド」は熱処理をしなくても強度が高い材料で製造します。熱処理をしませんからその熱処理コストを省き、お値打ちにお客様に提供できます。また、熱処理でボルト強度を上げるために必要な材料の高いカーボン含有量は必要なく、カーボン量が少ないことから溶接性が良く、強く安定した溶接強度が得られます。

但し、最初から高強度材を使用するため加工性は悪く、製造には高い技術が必要です。当社ではこれを克服し、溶接ボルトの形状で、販売を開始します。

熱処理なしで利用できる「ノンヒートスタッド」はお客様のものづくりの総コスト低減と品質向上に貢献できることはもとより、ゼロカーボンが要求される今後の市場環境において、環境を重視するお客様のニーズに沿うものと期待しています。

■高い引張強度を持つ材料を使用

引張強度が約 800Mpa 程度の高強度材料を使用しています。このため、ボルト形状に加工をしてから熱処理を施し、ボルトを高強度にする必要がありません。

■対応する相手材等

熱処理を行って使用する従来の溶接ボルトと同じ相手材に溶接し利用ができます。

■高強度な溶接が可能

材料に高いカーボン量は含まれていませんから、溶接性が良く、安全で高強度な溶接が可能です。

■ノンヒートスタッド



【本件に対する問い合わせ先】

株式会社ヤマシナ

マーケティング本部

京都市山科区東野狐藪町 16 番地

電話 075-591-3230 担当 高木